

生活科の実践

旭川市

生活科

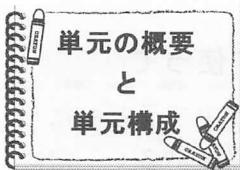
2年

昔遊びで人とのかかわりを！相手意識も大切に

昔遊びで楽しもう

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



内容（3）（6）（8）（9）に関連する学習です。遊びに使うものを工夫して作りかえたり、たくさんの人数で膝をつき合させて遊んだりできるものの中から、紙で作る遊びでを中心に構成しました。また、この活動の中でお年寄りと一緒に遊ぶ場も設定しました。遊ぶ前に「シニア疑似体験セット」を活用し、相手意識を持たせていきました。

学習活動の流れ（16時間）

ある程度の人数で遊べること、紙でできているもの、伝承的な遊びといった、めんこ、紙相撲、福笑い、すごく、カルタの5種類を選択しました。

シニア疑似体験セットの中から視野の狭くなるゴーグルと耳栓を装着して、作ったおもちゃで遊ぶ場面を設定しました。

相手を思いやる工夫を褒めてもらうことができました。

昔遊びを楽しもう

昔遊びのマップを作ろう（1）

- ・昔遊びの条件提示
- ・昔遊びマップの作成と交流からイメージ化

昔遊びで楽しもう（2）

- ・おじいちゃんおばあちゃんと一緒に楽しむ
- ・2組と一緒に楽しむ

昔遊びは楽しかったね（1）

- ・昔遊び体験の振り返りから学習の見通しをもつ

昔遊びを作って楽しもう

昔遊びおもちゃを作って遊ぼう（3）

- ・自分たちで工夫したおもちゃを作ろう

作ったおもちゃで遊ぼう（1）

- ・中間交流会で相手に合わせた工夫を考える
- ・シニア疑似体験セットの活用

おじいちゃんたちや2組と遊ぼう（3）

- ・手作りおもちゃでおじいちゃんたちと遊ぶ
- ・手作りおもちゃで2組と遊ぶ
- ・相手に合わせた工夫を意識した他者評価

おじいちゃんたちありがとう（1）

- ・楽しかったことうれしかったことを伝えよう
- ・活動を振り返り、葉書や手紙を書いて出そう

現代の子どもたちは、自分たちで遊びをつくり出す経験はあまりありません。

まずは、昔からある遊びを楽しむことで、子どもたちの遊びが広がります。



どうやって遊ぶんですか

教材・活動の Point!



1. 相手のことを考える、中間交流会の工夫！

自分たちで作った「昔遊び」をもとにした遊びは、相手に合わせた遊び方や思いやりが加わるようにしました。例えば、高齢者が相手の時には、文字を大きくしたり、分かりやすくゆっくりと話したり、ルールを単純にしたりすることです。同学年の子が相手の時には、キャラクターやルールを工夫していました。



2. 高齢者への配慮～体験活動導入の工夫！

相手意識を持たせるための体験活動もしました。高齢者の視野の狭さや耳の聞こえにくさを少しでも共感的に理解させるための工夫として、「視野を狭くするゴーグル」と「耳栓」を着用して遊んだのです。2つの体験を通して、見やすい文字の工夫や、話をするときには、ゆっくり、はつきりと話すことなどについて気付きました。

